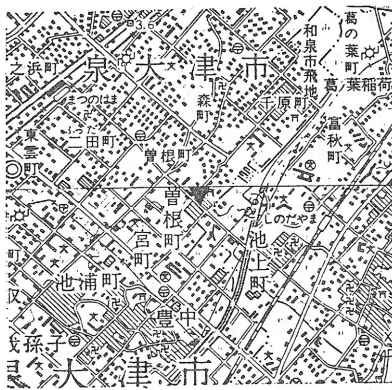


大阪・池上・曾根遺跡

- 1 所在地 大阪府泉大津市曾根町二丁目
- 2 調査期間 一九八二年(昭57)一月～二月
- 3 発掘機関 大阪府教育委員会
- 4 調査担当者 瀬川 健・森井貞雄・小山田宏一
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 弥生時代～江戸時代
- 7 遺跡及び木筒出土遺構の概要



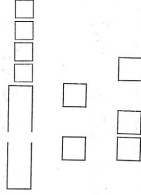
この遺跡は、大阪府の南部に所在し、既に弥生時代中期の環濠集落として著名である。木筒(折敷底板)は、国史跡指定地の西側に近接する民有地(昭和五七年度第八調査区)で検出された井戸(SE101)底から出土した。井戸は、上径約二・三m、深さ約一・四mを測り、四段重ねの曲物井筒を有している。共伴した瓦器から、一三世紀後葉の年代が与えられる。



8 木簡の积文・内容

(1) ・「」

・「 申 値置六



「三

172×(130)×5 061

折敷底板で右側は欠けている。習書か。

9 関係文献

大阪府教育委員会『池上・曾根遺跡発掘調査概要XV』(一九八二年)

(森井貞雄)